

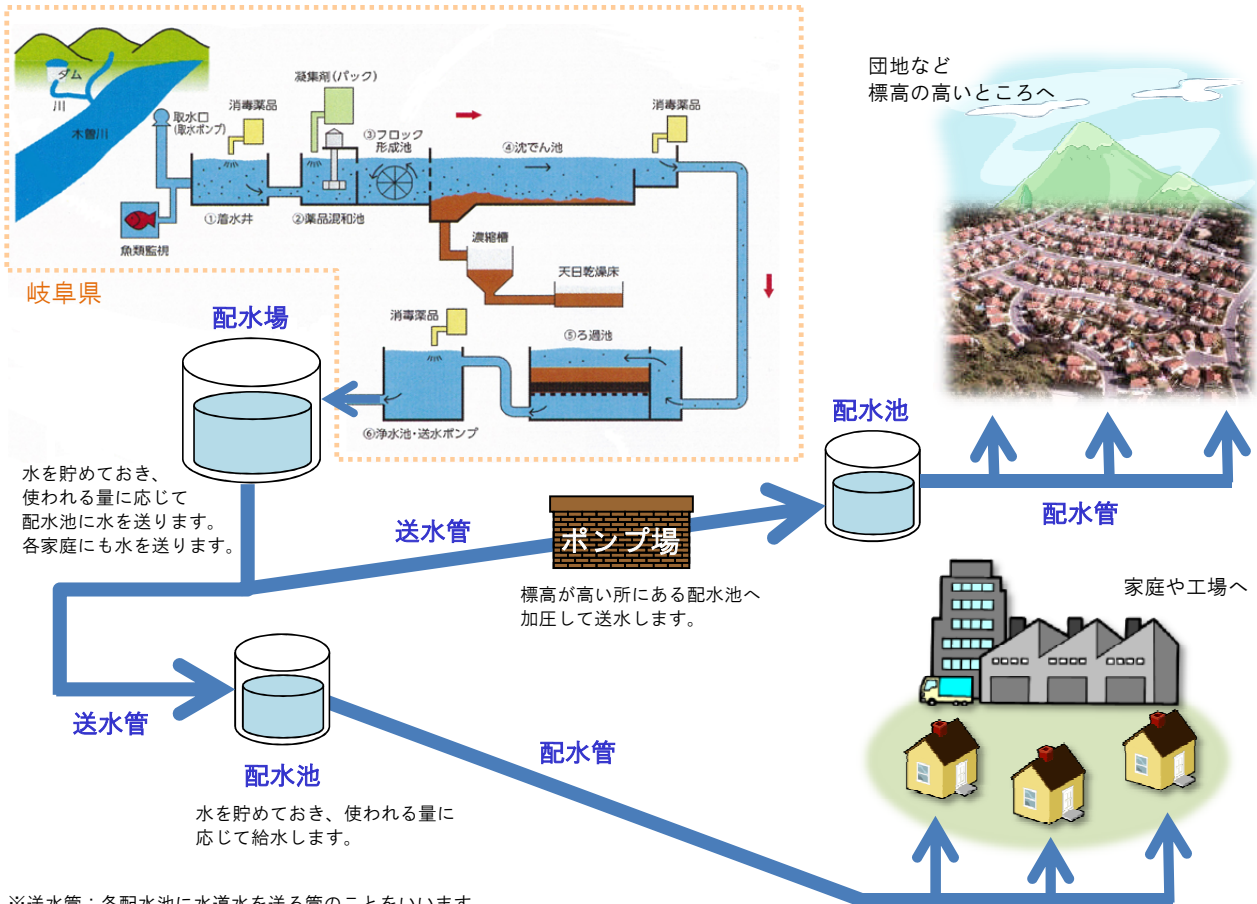
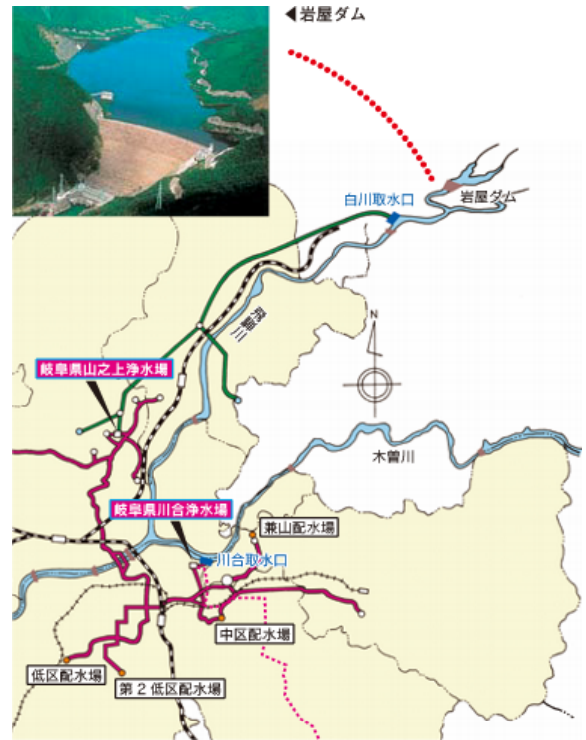
水が家庭に届くまで

●私たちが飲んでいる水の水源は、岩屋ダム（下呂市）で、飛騨川の白川取水口（加茂郡白川町）と木曾川の川合取水口で、それぞれ取水されます。白川町で取水された水は、山之上浄水場（美濃加茂市）で浄水され、可児市に送られます。川合で取水された水は、川合浄水場で浄水されます。その年によって違いますが、市全体の供給量のうち、山之上浄水場と川合浄水場でほぼ半分ずつの量を受水しています。

2カ所の浄水場で浄水された水は、市内4カ所の配水場に蓄えられます。可児市は、なだらかな丘陵地に多くの団地が点在しています。そのため、水は市内各地にある配水池に送られます。高い場所にある配水池へはポンプによりくみ上げられています。

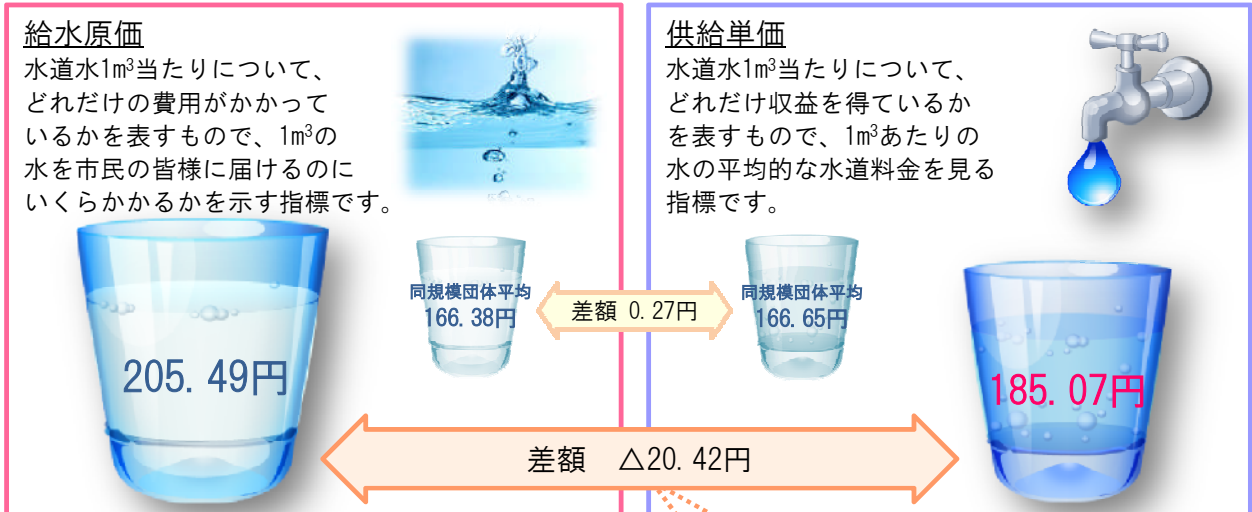
●水道は、誰もが毎日使用し、直接人の健康と衛生にかかわってきます。そのため、安全性が最も重要です。その安全性については、水道法により厳しい検査が義務付けられています。

下の図は、浄水場で安全な水ができ、各家庭へ届けられる過程です。山之上浄水場および川合浄水場では、水道法に基づき水の濁りや色、臭い、味、細菌など50項目の検査を行い、水質を監視しています。この検査をクリアした安全な水が、私たちに届けられます。

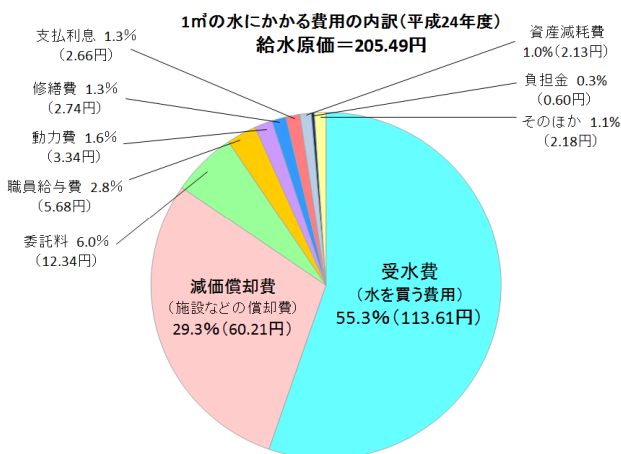


※送水管：各配水池に水道水を送る管のことをいいます。
 ※配水管：各家庭に水道水を送り届ける管のことをいいます。

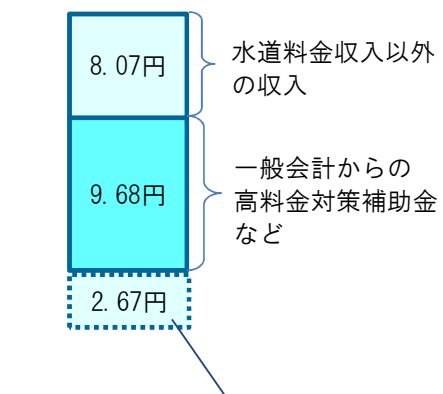
水道水 1 m³を届けるための費用 205円
 水道水 1 m³で得られる収益 185円



※平成24年度決算値。ただし、同規模団体平均は平成23年度値。



上のグラフは、給水原価の構成図です。
 最も多いのが水を買う費用で、55.3%を占めています。
 次に多いのが、施設などの償却費で29.3%です。これは、
 市内には団地が点在しており、配水池やポンプ場などの施設
 が多いからです。



補助金などを充てても、なお不足する額については、水道の加入分担金等で得た収入で補っています。

このように、水道料金は、安全に、安定して水を供給するために必要な経費で構成されています。

「給水原価」が「供給単価」を上回っている場合は、給水にかかる費用を賄うのに、水道料金収入以外の収入が必要な状況にあるといえます。1 m³の水を給水するのにかかる費用と1 m³当たりの水道料金の単価を比較することにより、原価回収ができていかどうかを把握できます。

1 m³とは？

- ◆水道使用量の単位「m³」とは、「立方メートル」「立米(りゅうべい)」と読みます。
- ◆「m³」は100cm×100cm×100cmの容積ですから、「ℓ」に換算すると1000ℓということになります。

1 m³ (立米) = 1000ℓ ⇒ 500mlのペットボトル×2000本
 ⇒ 風呂の浴槽おおよそ180~200ℓ×約5日

可児市の水道料金は高い？

「可児市の水道料金は、なぜ高いの？」という質問がよく寄せられます。それには、次のような理由があります。

① 水は県から購入

市の人口は昭和40年代からの宅地開発などにより急増し、それに伴い給水人口も増加してきました。また、1人当たりの水道使用量も増えてきました。

このため、従来から市が持っていた水利権だけでは増加する水道の需要を賅いきれなくなりました。そこで、将来にわたり安定的に水道水を供給するため、平成3年から水利権を県に移管し、全量を県から購入しています。

② コストがかかっている県の水

県は、岩屋ダムの建設などに膨大な負担をし、水利権を取得して、水を確保しています。その償還金や、浄水施設などの維持管理費、安全供給をするための整備費に多くの費用がかかっています。

県から水を購入するようになってから、市民の皆さんに料金の値上げをお願いする一方で、一般会計から高料金対策補助金を投入するなど、水道料金の近隣市町村との格差是正を図ってきました。13年度と19年度は水道料金の引き下げをしました。

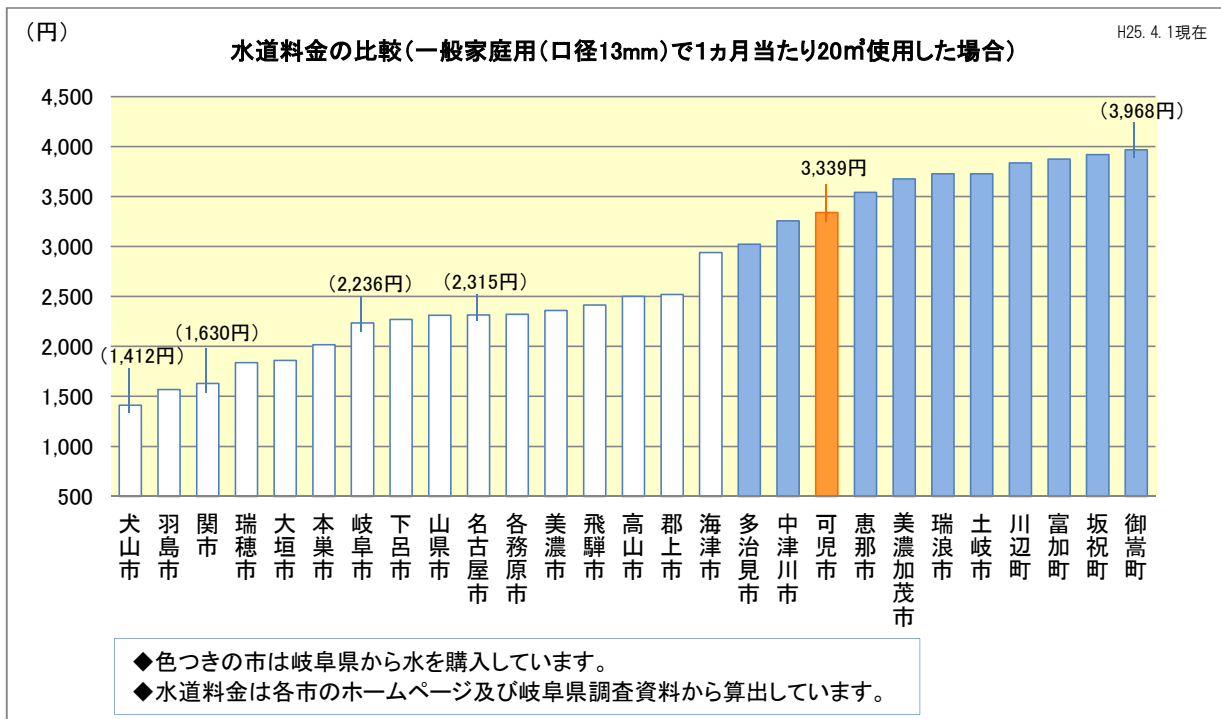
こうした中にも、事務の見直しや経費の節減など健全経営にも取り組んできましたが、近年の経済低迷などもあり、施設の耐震化など多くの課題を抱える中で、経営環境は厳しい状況になっています。

他の市町との比較

下のグラフは、県内の市町と名古屋市、犬山市の水道料金を示したものです。

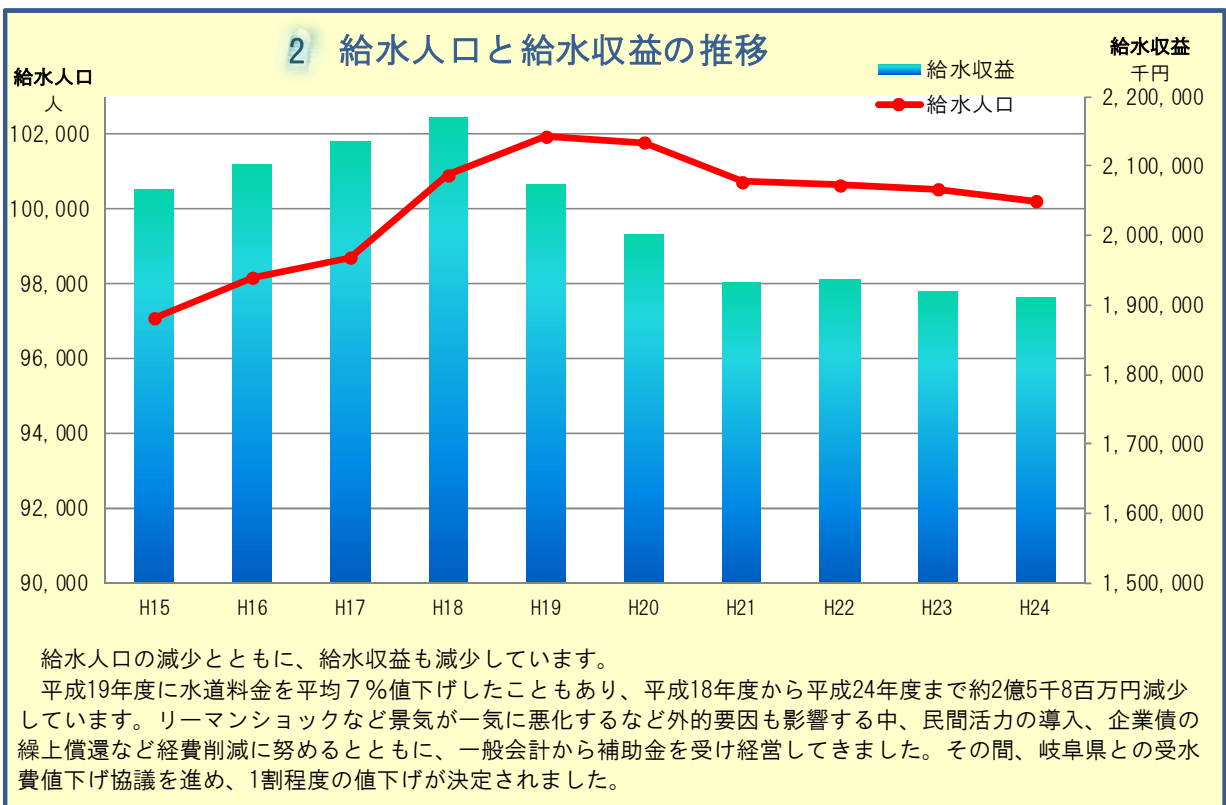
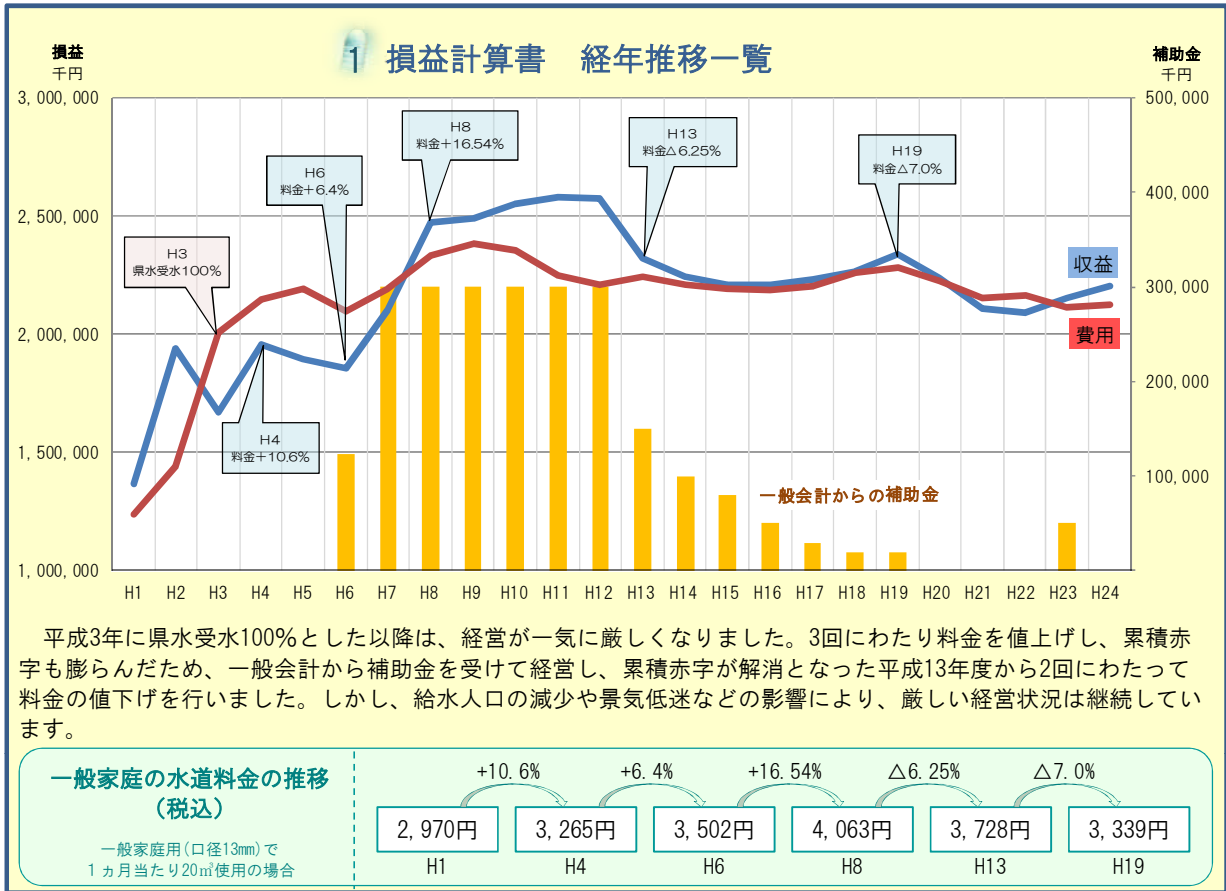
豊富な地下水を取水でき、水を購入する必要がない関市や岐阜市、古くから木曾川の慣行水利権を持つ名古屋市などは、安い料金設定ができます。

県から水を買っている他の10市町と比べると、可児市は下から3番目です。

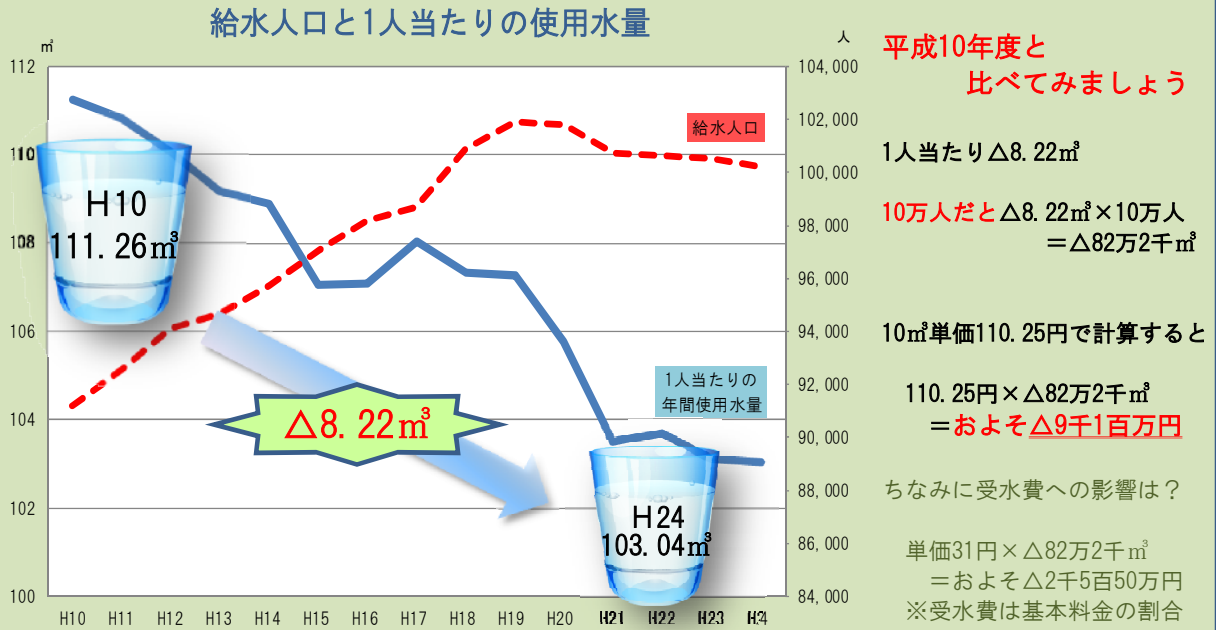


水道事業の経営状況

平成20年10月をピークに人口が減少に転じ、少子高齢化も進展しています。水道事業においても給水人口は減少し、さらには皆様の節水意識の向上や節水機器の普及も重なり、水需要（有収水量）は平成19年度をピークに減少、それに伴い、給水収益も減収が続いています。

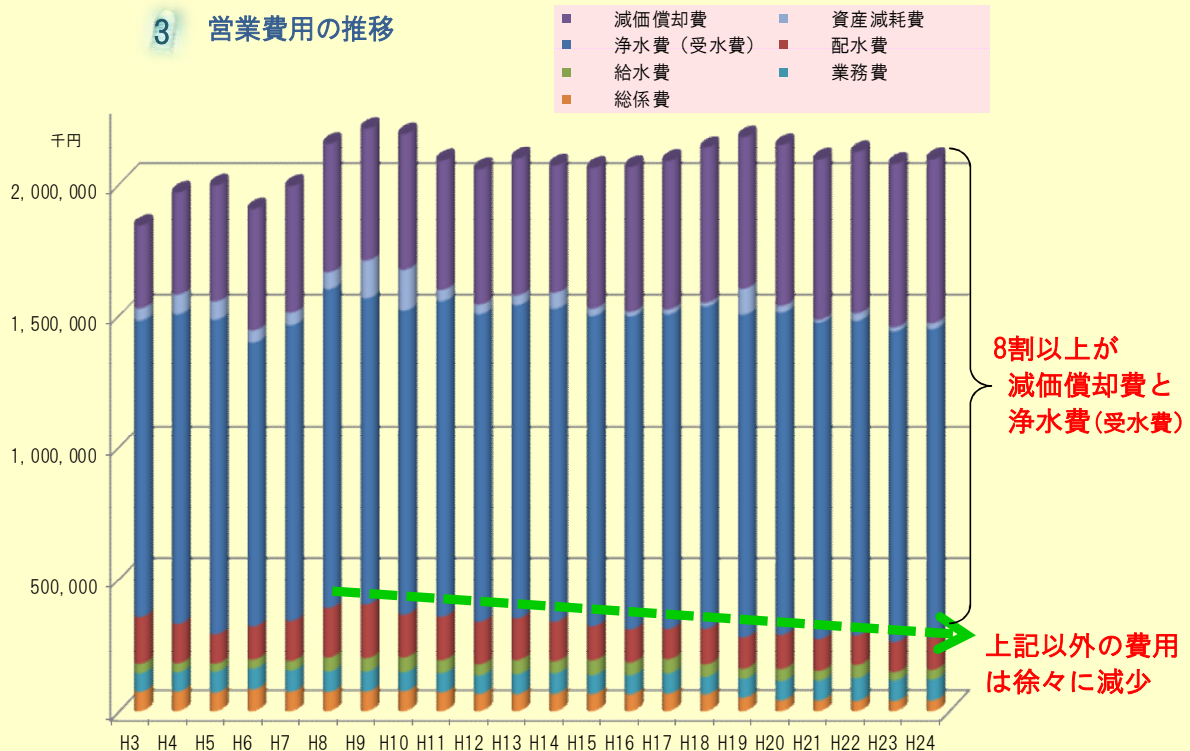


～ みなさんの水の使用量が減ると給水収益に
どれくらい影響するの？ ～



※使用水量の減少は、工場や会社などの事業所、学校などの減少も含んでいます。

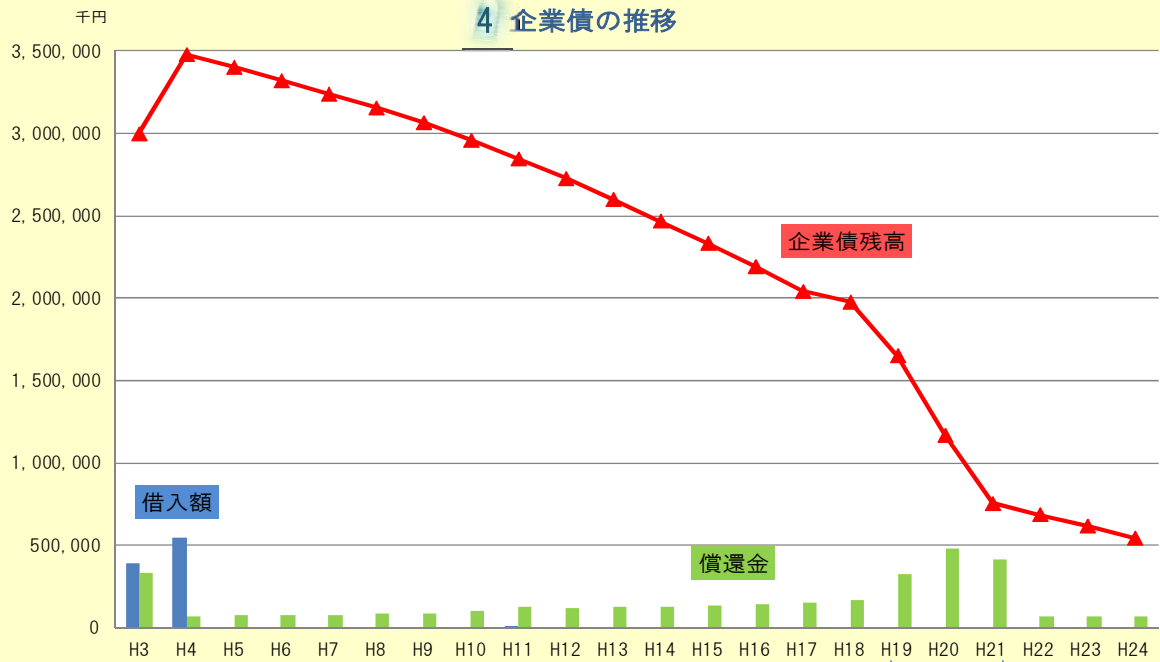
3 営業費用の推移



県からの水の購入費である浄水費(受水費)と水道施設の減価償却費が営業費用の8割を占めています。それ以外の費用については、継続して経費の削減に努め、徐々に減少させてきています。

なお、水道事業会計の職員数は、平成3年度は27人で平成24年度は13人へと50%以上の削減をしています。

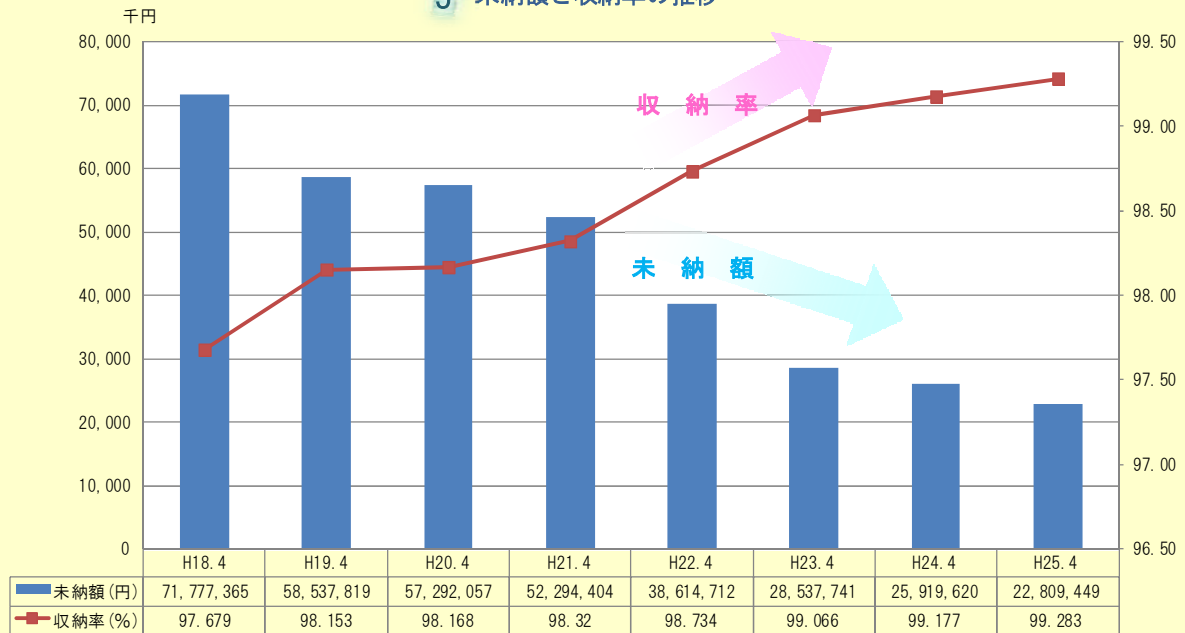
4 企業債の推移



起債の抑制と平成19～21年度の公的資金補償金免除繰上償還などの影響により、起債残高は大きく減少。

結果、支払利息が、ピーク（平成5年度）時の1億8,900万円程度から平成24年度には2,700万円程度まで減少し、1億5,000万円以上の費用圧縮が図れています。

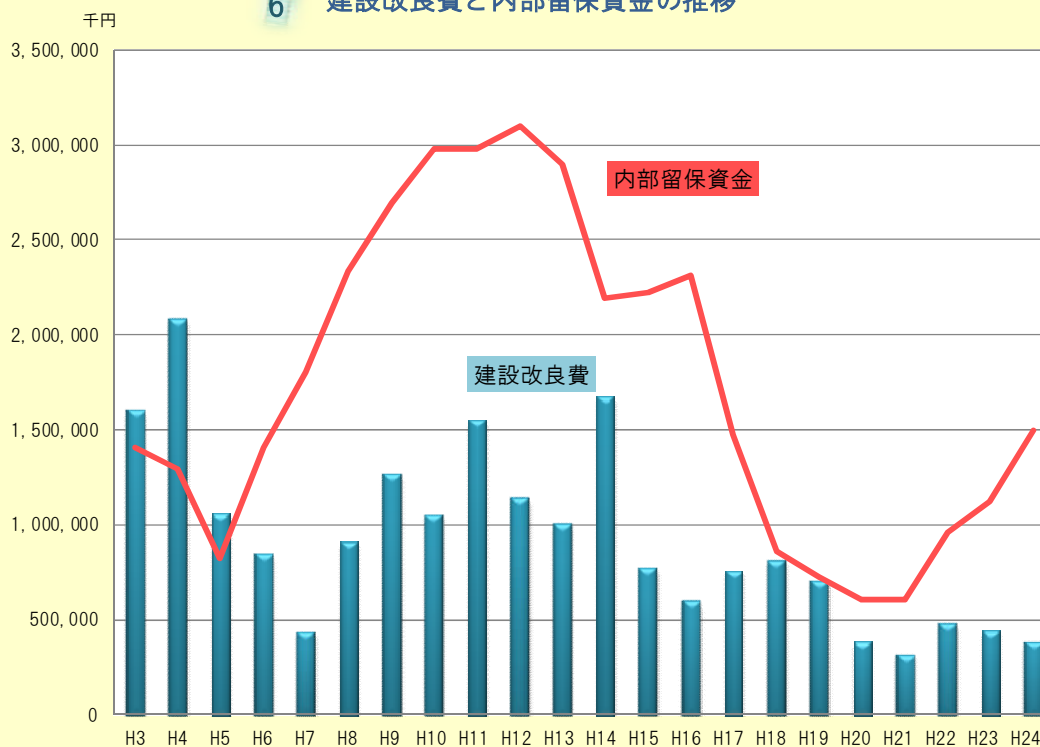
5 未納額と収納率の推移



平成18年度から窓口業務と料金徴収業務を民間企業に委託しています。

それにより職員数の削減ができたとともに、未納額の減少と収納率の向上にもつなげることができています。

6 建設改良費と内部留保資金の推移



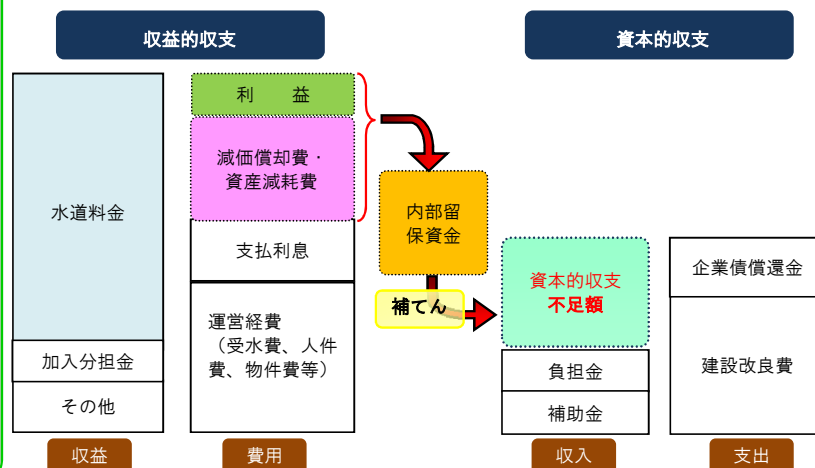
◎主な建設改良費の内容◎

- H3 大森ポンプ場築造工事 3億5,780万円、中央監視センター築造工事 3億8,900万円
- H4 中区配水場長山送水ポンプ工事 1億830万円、工業団地ポンプ場築造工事 3億7,940万円、藤藪配水池築造及び配水管布設工事 4億3,390万円、下水道事業に伴う各地区配水管布設替工事 (以下「下水道関連」) 5億8,700万円
- H5 下水道関連 5億8,700万円、東帷子配水管布設工事 1億170万円、藤藪団地配水管布設工事 7,640万円
- H9 姫治南部開発配水池増設及び配水管布設工事 3億9,140万円、下水道関連 5億4,790万円
- H10 第4次桜ヶ丘ハイツ開発に伴う配水管布設工事 1億1,940万円、下水道関連 4億8,370万円
- H11 桜ヶ丘地内配水管布設替工事 9,880万円、北姫ニュータウン配水管布設替工事 8,880万円、鳩吹台配水池緊急遮断弁設置工事 7,130万円、下水道関連 8億3,400万円
- H12 坂戸地内送配水管布設工事 9,680万円、鳩吹台地内配水管布設替工事 1億620万円、下水道関連 5億370万円
- H13 大森新田地内宅地開発に伴う配水管布設工事 9,120万円、下水道関連 3億3,280万円
- H14 第2低区配水場建設工事 5億4,860万円、桜ヶ丘ポンプ場電気設備更新工事 1億3,170万円、下水道関連 7億9,420万円

内部留保資金

資本的収支の工事費などは、水道料金で賄っていますが、水道料金は全て収益として収益的収支に計上し、資本的収支には計上しないため、収益的収支には、現金に余剰が生じる一方で、資本的収支には現金に不足が生じることになります。

そのため、収益的収支の現金収入から人件費や物件費などの現金支出を除いた部分である減価償却費（非現金支出）や単年度利益などに相当する部分を内部留保資金として不足額に補填します。



水道ビジョン（H21.3策定）の財政計画見通しと実績比較

収益的収支

（単位：千円、税抜）

区 分		H19	H20	H21	H22	H23	H24	
収 益	1. 営業収益	水道ビジョン	2,142,154	2,138,124	2,157,782	2,178,771	2,191,518	2,203,773
		実 績	2,142,154	2,069,734	1,999,202	2,006,071	2,000,865	1,980,793
		比 較	0	△68,390	△158,580	△172,700	△190,653	△222,980
	(1) 給水収益	水道ビジョン	2,073,910	2,068,833	2,086,873	2,104,278	2,116,945	2,129,562
		実 績	2,073,910	2,000,380	1,931,764	1,937,368	1,920,282	1,911,117
		比 較	0	△68,453	△155,109	△166,910	△196,663	△218,445
	(2) その他の営業収益	水道ビジョン	68,244	69,291	70,909	74,493	74,573	74,211
		実 績	68,244	69,354	67,438	68,703	80,583	69,676
		比 較	0	63	△3,471	△5,790	6,010	△4,535
	2. 営業外収益	水道ビジョン	37,378	17,146	16,203	17,155	18,251	19,692
		実 績	37,378	19,129	15,473	13,993	68,052	13,572
		比 較	0	1,983	△730	△3,162	49,801	△6,120
	(1) 受取利息及び配当金	水道ビジョン	13,904	16,646	15,703	16,655	17,751	19,192
		実 績	13,904	17,049	14,556	13,114	12,334	9,660
		比 較	0	403	△1,147	△3,541	△5,417	△9,532
	(2) 他会計補助金	水道ビジョン	20,000	0	0	0	0	0
		実 績	20,000	0	0	0	50,000	0
		比 較	0	0	0	0	50,000	0
	(3) 雑収益	水道ビジョン	3,474	500	500	500	500	500
		実 績	3,474	2,080	917	879	5,718	3,912
		比 較	0	1,580	417	379	5,218	3,412
3. 特別利益	水道ビジョン	156,350	145,936	129,037	120,598	104,618	101,595	
	実 績	156,350	148,739	91,815	73,312	84,356	208,817	
	比 較	0	2,803	△37,222	△47,286	△20,262	107,222	
(1) 過年度損益修正益	水道ビジョン	4,972	0	0	0	0	0	
	実 績	4,972	557	572	0	9	16	
	比 較	0	557	572	0	9	16	
(2) その他特別利益	水道ビジョン	151,378	145,936	129,037	120,598	104,618	101,595	
	実 績	151,378	148,182	91,243	73,312	84,347	208,801	
	比 較	0	2,246	△37,794	△47,286	△20,271	107,206	
収益合計	水道ビジョン	2,335,882	2,301,206	2,303,022	2,316,524	2,314,387	2,325,060	
	実 績	2,335,882	2,237,602	2,106,490	2,093,376	2,153,273	2,203,182	
	比 較	0	△63,604	△196,532	△223,148	△161,114	△121,878	

区 分		H19	H20	H21	H22	H23	H24	
費 用	4. 営業費用	水道ビジョン	2,179,332	2,199,507	2,205,135	2,229,052	2,241,263	2,264,900
		実 績	2,179,332	2,149,724	2,093,638	2,123,927	2,077,589	2,094,025
		比 較	0	△49,783	△111,497	△105,125	△163,674	△170,875
	(1) 浄水費(受水費)	水道ビジョン	1,226,705	1,245,548	1,255,587	1,265,205	1,271,974	1,278,703
		実 績	1,226,705	1,225,092	1,202,830	1,194,640	1,180,364	1,173,232
		比 較	0	△20,456	△52,757	△70,565	△91,610	△105,471
	(2) 配水費	水道ビジョン	117,318	128,822	129,860	130,855	131,555	132,251
		実 績	117,318	127,470	118,788	111,343	112,659	120,220
		比 較	0	△1,352	△11,072	△19,512	△18,896	△12,031
	(3) 給水費	水道ビジョン	37,946	49,520	49,919	50,302	50,571	50,838
		実 績	37,946	45,389	36,510	48,826	31,218	35,732
		比 較	0	△4,131	△13,409	△1,476	△19,353	△15,106
	(4) 業務費	水道ビジョン	70,468	74,700	75,302	75,879	76,285	76,688
		実 績	70,468	71,889	73,529	84,926	75,641	78,079
		比 較	0	△2,811	△1,773	9,047	△644	1,391
	(5) 総係費	水道ビジョン	52,912	52,874	53,300	53,708	53,996	54,281
		実 績	52,912	43,104	43,183	41,198	41,253	43,017
		比 較	0	△9,770	△10,117	△12,510	△12,743	△11,264
	(6) 減価償却費	水道ビジョン	575,942	614,956	625,514	631,663	646,581	652,272
		実 績	575,942	611,237	608,649	613,925	621,103	621,706
		比 較	0	△3,719	△16,865	△17,738	△25,478	△30,566
(7) 資産減耗費	水道ビジョン	98,041	33,087	15,652	21,440	10,302	19,866	
	実 績	98,041	25,543	10,149	29,069	15,351	22,039	
	比 較	0	△7,544	△5,503	7,629	5,049	2,173	
5. 営業外費用	水道ビジョン	101,471	80,973	54,897	33,857	30,737	27,470	
	実 績	101,471	74,295	55,394	34,169	30,737	27,902	
	比 較	0	△6,678	497	312	0	432	
(1) 支払利息	水道ビジョン	101,191	80,973	54,897	33,857	30,737	27,470	
	実 績	101,191	73,407	54,897	33,857	30,737	27,470	
	比 較	0	△7,566	0	0	0	0	
(2) 雑支出	水道ビジョン	280	0	0	0	0	0	
	実 績	280	888	497	312	0	432	
	比 較	0	888	497	312	0	432	
6. 特別損失	水道ビジョン	458	600	600	600	600	600	
	実 績	458	2,662	5,724	4,667	2,837	2,757	
	比 較	0	2,062	5,124	4,067	2,237	2,157	
費用合計	水道ビジョン	2,281,261	2,281,080	2,260,632	2,263,509	2,272,600	2,292,970	
	実 績	2,281,261	2,226,681	2,154,756	2,162,763	2,111,163	2,124,684	
	比 較	0	△54,399	△105,876	△100,746	△161,437	△168,286	
営業利益(損失)	水道ビジョン	△37,178	△61,383	△47,353	△50,281	△49,745	△61,127	
	実 績	△37,178	△79,990	△94,436	△117,856	△76,724	△113,232	
	比 較	0	△18,607	△47,083	△67,575	△26,979	△52,105	
経常利益(損失)	水道ビジョン	△101,271	△125,210	△86,047	△66,983	△62,231	△68,905	
	実 績	△101,271	△135,156	△134,357	△138,032	△39,409	△127,562	
	比 較	0	△9,946	△48,310	△71,049	22,822	△58,657	
当年度純利益(純損失)	水道ビジョン	54,621	20,126	42,390	53,015	41,787	32,090	
	実 績	54,621	10,921	△48,266	△69,387	42,110	78,498	
	比 較	0	△9,205	△90,656	△122,402	323	46,408	

資本的収支

(単位：千円、税抜)

区 分		H19	H20	H21	H22	H23	H24	
収 入	1. 資本的収入	水道ビジョン	169,628	44,286	17,550	18,000	14,550	15,150
		実 績	169,628	36,528	28,003	16,201	10,965	16,051
		比 較	0	△7,394	20,906	△6,918	△17,602	△8,392
	(1) 負担金	水道ビジョン	167,404	36,164	17,550	18,000	14,550	15,150
		実 績	167,404	36,528	28,003	14,541	5,749	10,954
		比 較	0	364	10,453	△3,459	△8,801	△4,196
	①分担金	水道ビジョン	13,931	364	0	0	0	0
		実 績	13,931	0	0	0	0	0
		比 較	0	△364	0	0	0	0
	②工事負担金	水道ビジョン	134,868	25,900	9,550	10,000	6,550	7,150
		実 績	134,868	21,603	18,289	5,487	3,358	4,403
		比 較	0	△4,297	8,739	△4,513	△3,192	△2,747
	③他会計負担金	水道ビジョン	18,605	9,900	8,000	8,000	8,000	8,000
		実 績	18,605	14,925	9,714	9,054	2,391	6,551
		比 較	0	5,025	1,714	1,054	△5,609	△1,449
(2) 国庫補助金	水道ビジョン	0	0	0	0	0	0	
	実 績	0	0	0	1,660	5,216	5,097	
	比 較	0	0	0	1,660	5,216	5,097	
(3) 固定資産売却代金	水道ビジョン	2,224	8,122	0	0	0	0	
	実 績	2,224	0	0	0	0	0	
	比 較	0	△8,122	0	0	0	0	
支 出	2. 資本的支出	水道ビジョン	997,612	995,838	772,699	648,172	590,313	449,019
		実 績	997,612	844,914	713,464	521,439	494,571	433,208
		比 較	0	△150,924	△59,235	△126,733	△95,742	△15,811
	(1) 建設改良費	水道ビジョン	672,896	512,191	358,321	581,501	520,521	375,961
		実 績	672,896	361,267	299,086	454,768	424,779	360,150
		比 較	0	△150,924	△59,235	△126,733	△95,742	△15,811
	(2) 償還金	水道ビジョン	324,716	483,647	414,378	66,671	69,792	73,058
		実 績	324,716	483,647	414,378	66,671	69,792	73,058
		比 較	0	0	0	0	0	0
資本的収支過不足額	水道ビジョン	△827,984	△951,552	△755,149	△630,172	△575,763	△433,869	
	実 績	△827,984	△808,386	△685,461	△505,238	△483,606	△417,157	
	比 較	0	143,166	69,688	124,934	92,157	16,712	

水道事業会計決算状況一覧

業務	区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
	給水人口	98,703	100,902	101,935	101,783	100,718	100,632	100,532	100,215
	給水件数 (件)	29,543	30,690	31,172	31,555	31,801	32,067	32,399	32,751
	13mm (件)	26,394	27,362	27,698	27,933	28,087	28,299	28,560	28,835
	20mm (件)	1,945	2,045	2,119	2,218	2,279	2,326	2,390	2,454
	25mm以上 (件)	1,204	1,283	1,355	1,404	1,435	1,442	1,449	1,462
	年間給水量 (m ³)	11,436,484	11,564,691	11,637,346	11,479,316	11,169,399	11,240,429	11,205,376	11,078,172
	年間有収量 (m ³)	10,663,361	10,829,738	10,935,275	10,765,225	10,425,609	10,435,052	10,365,156	10,326,416
	有収率 (%)	93.24	93.64	93.97	93.78	93.34	92.83	92.50	93.21
	1日最大給水量 (m ³)	37,907	42,058	48,437	44,136	37,610	41,729	39,534	39,115
	1日平均給水量 (m ³)	31,333	31,684	31,796	31,450	30,601	30,796	30,617	30,351
	1日平均有収水量 (m ³)	29,215	29,671	29,878	29,494	28,563	28,589	28,320	28,292
	給水原価 (円)	206.56	207.82	208.57	206.59	206.13	206.81	204.79	205.49
	供給単価 (円)	200.18	200.37	189.65	185.82	185.29	185.66	185.26	185.07

(単位：円、税抜)

収益的収支

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
1. 営業収益	2,198,640,588	2,237,585,051	2,142,153,964	2,069,734,357	1,999,202,111	2,006,070,346	2,000,865,287	1,980,792,878
(1) 給水収益	2,134,633,371	2,169,954,691	2,073,909,859	2,000,380,307	1,931,764,548	1,937,367,819	1,920,282,356	1,911,116,521
(2) その他の営業収益	64,007,217	67,630,360	68,244,105	69,354,050	67,437,563	68,702,527	80,582,931	69,676,357
2. 営業外収益	33,068,990	25,864,729	37,378,121	19,129,321	15,472,551	13,993,385	68,051,080	13,572,733
(1) 受取利息及び配当金	1,144,573	5,361,852	13,904,068	17,049,270	14,555,536	13,114,001	12,333,537	9,660,228
(2) 他会計補助金	30,000,000	20,000,000	20,000,000				50,000,000	
(3) 雑収益	1,924,417	502,877	3,474,053	2,080,051	917,015	879,384	5,717,543	3,912,505
3. 特別利益	945	945	156,350,433	148,738,520	91,815,537	73,312,000	84,356,338	208,816,737
(1) 過年度損益修正益	945	945	4,972,433	556,520	572,537		9,338	15,737
(2) その他特別利益			151,378,000	148,182,000	91,243,000	73,312,000	84,347,000	208,801,000
収益合計	2,231,710,523	2,263,449,780	2,335,882,518	2,237,602,198	2,106,490,199	2,093,375,731	2,153,272,705	2,203,182,348
4. 営業費用	2,088,610,675	2,139,548,176	2,179,332,370	2,149,723,350	2,093,637,719	2,123,926,635	2,077,588,943	2,094,025,362
(1) 浄水費	1,194,950,431	1,225,086,045	1,226,705,612	1,225,092,044	1,202,829,896	1,194,640,355	1,180,363,600	1,173,232,260
(2) 配水費	114,986,054	133,863,163	117,317,879	127,469,763	118,787,610	111,342,808	112,659,503	120,220,289
(3) 給水費	52,839,579	46,343,422	37,945,800	45,388,616	36,510,289	48,826,229	31,218,425	35,732,582
(4) 業務費	74,819,722	64,727,522	70,467,843	71,888,650	73,528,793	84,925,961	75,641,252	78,078,615
(5) 総係費	68,351,399	65,923,074	52,912,330	43,104,180	43,183,042	41,197,743	41,253,026	43,017,049
(6) 減価償却費	564,150,591	589,342,428	575,942,050	611,237,013	608,649,518	613,924,936	621,102,625	621,705,630
(7) 資産減耗費	18,512,909	14,262,522	98,040,856	25,543,084	10,148,571	29,068,603	15,350,512	22,038,937
5. 営業外費用	114,031,260	111,051,742	101,471,305	74,295,414	55,394,211	34,169,103	30,736,879	27,902,681
(1) 支払利息	113,804,598	110,856,666	101,191,545	73,407,418	54,897,405	33,857,100	30,736,879	27,470,393
(2) 雑支出	226,662	195,076	279,760	887,996	496,806	312,003		432,288
6. 特別損失	206,194	9,496,970	457,604	2,662,241	5,724,455	4,666,770	2,836,845	2,756,582
費用合計	2,202,848,129	2,260,096,888	2,281,261,279	2,226,681,005	2,154,756,385	2,162,762,508	2,111,162,667	2,124,684,625
営業利益(損失)	110,029,913	98,036,875	△37,178,406	△79,988,993	△94,435,608	△117,856,289	△76,723,656	△113,232,484
経常利益(損失)	29,067,643	12,849,862	△101,271,590	△135,155,086	△134,357,268	△138,032,007	△39,409,455	△127,562,432
当年度純利益(純損失)	28,862,394	3,352,892	54,621,239	10,921,193	△48,266,186	△69,386,777	42,110,038	78,497,723
減価積立金	28,862,394	3,352,892	54,621,239	10,921,193				
処分後繰越利益剰余金(欠損金)	67,111,445	67,111,445	67,111,445	67,111,445	18,845,259	△50,541,518	△8,431,480	70,066,243

(単位：円、税込)

資本的収支

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
1. 資本的収入	271,987,800	276,204,900	171,374,145	36,715,446	28,876,050	16,230,900	11,079,200	16,227,000
(1) 負担金	271,987,800	276,204,900	169,150,350	28,592,996	28,876,050	14,570,900	5,863,200	11,130,000
(2) 補助金						1,660,000	5,216,000	5,097,000
(3) 固定資産売却代金			2,223,795	8,122,450				
2. 資本的支出	903,813,096	972,526,543	1,028,526,506	861,731,166	726,851,762	541,234,308	508,515,281	452,848,225
(1) 建設改良費	753,483,234	803,793,445	703,810,642	378,083,911	312,473,476	474,562,996	438,723,748	379,790,206
(2) 償還金	150,329,862	168,733,098	324,715,864	483,647,255	414,378,286	66,671,312	69,791,533	73,058,019
資本的収支過不足額	△ 631,825,296	△ 696,321,643	△ 857,152,361	△ 825,015,720	△ 697,975,712	△ 525,003,408	△ 497,436,081	△ 436,621,225

経営分析表

項目	算式	可児市				23年度 同規模平均	23年度 全国平均	備考
		24年度	23年度	22年度	21年度			
構成比率	1. 固定資産構成比率	88.7	90.5	91.6	88.1	90.7	総資産のうち固定資産の占める割合の適正化を示す。比率が小さいほど良い。水道事業は施設型事業であるため、この比率は高くなっている。流動資産の減少により固定資産に対する比率は上昇している。	
	2. 固定負債構成比率	2.6	3.5	3.8	26.7	30.3	資産の調達源泉である負債・資本合計のうち、他人資本(借入資本+固定負債)の占める割合を示す比率である。自己資本構成比率とは逆の概念である。可児市では企業債残高が減少しているため、比率は低下傾向にある。	
	3. 自己資本構成比率	95.6	94.6	94.0	71.3	67.9	可児市は借入資本が少なく資本剰余金(主に工事負担金)が多いため、固定負債構成比率が少で、自己資本構成比率が大となっている。	
財務比率	4. 固定資産対長期資本比率	90.3	92.3	93.7	89.9	92.3	固定資産のうち自己資本と長期借入金(借入資本+固定負債)によって調達されている割合を示す比率である。100%以下であり、かつ低いことが望ましい。流動資産の減少により固定資産に対する比率は上昇している。	
	5. 固定比率	92.8	95.6	97.5	123.5	133.6	固定資産のうち自己資本(自己資本+剰余金)で調達されている割合を示す比率である。低い方が望ましい。	
	6. 流動比率	652.0	495.1	372.5	608.2	525.2	流動資産の減少により固定資産に対する比率は上昇している。流動負債に対してこれに見合う流動資産をどれだけ有しているか、つまり短期債務に対する支払能力を示す比率である。200%以上が望ましい。	
	7. 当座比率	574.6	385.0	296.9	544.4	445.9	流動比率の補助比率であり、流動資産のうち現金預金、換金性の高い未収金を有しているかを示す比率である。高い方が望ましい。	
	8. 現金比率	529.0	341.0	259.8	469.7	384.3	流動負債に対する現金預金の割合を示す比率である。高い方が望ましい。流動資産が減少し比率が大きく低下している。	
	9. 総収支比率	103.7	102.0	96.8	107.6	107.4	総収益と総費用を対比させたもので、100%以上の場合は黒字決算である。	
収益比率	10. 経常収支比率 ※1 参照	94.0	98.1	93.6	107.7	108.1	総収益、総費用から特別利益、特別損失をそれぞれ除いたものを対比したものであり、経営成績を示している。100%以上でかつ高いほど良い。	
	11. 営業収支比率	94.6	96.3	94.5	113.1	114.0	業務活動の能率を示すもので、営業活動の成否が判断される。100%以上でかつ高いほどよい。	

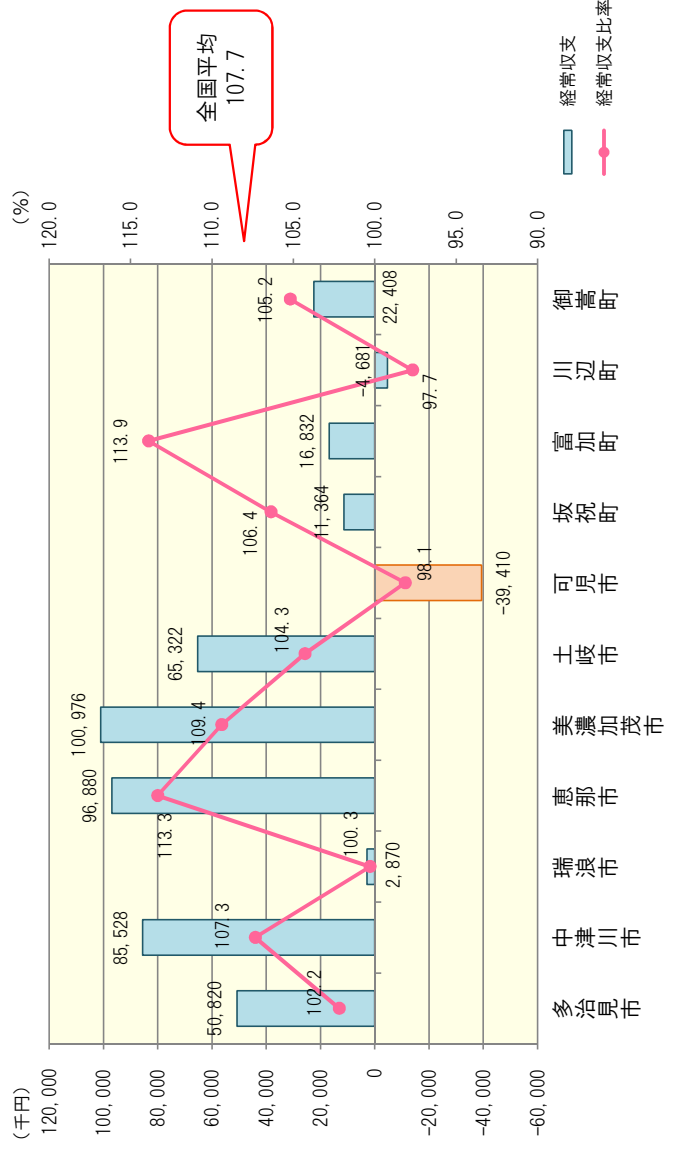
項目	算式	可児市		23年度 同規模平均	23年度 全国平均	備考
		24年度	23年度			
12. 利子負担率	支払利息／借入資金	5.0	5.0	2.6	2.6	借入（可児市の場合は企業債）に対する支払利息の割合を示す比率である。 可児市では借り入れた企業債残高が減少しているため数値が高くなっている。
13. 企業債償還元金対減価償却額比率	企業債償還元金 ／ 減価償却額	11.8	11.2	57.9	70.9	企業債償還元金とその主要償還財源である減価償却額を比較した比率である。 可児市は、企業債残高は比較的少ないため低い比率となっている。
14. 企業債償還元金対料金収入比率	企業債償還元金 ／ 料金収入	3.8	3.6	17.1	22.7	企業債償還元金と営業活動によってもたらされた主収益である料金収入を比較した比率である。
15. 企業債利息対料金収入比率	企業債利息 ／ 料金収入	1.4	1.6	6.7	8.5	企業債利息と営業活動によってもたらされた主収益である料金収入を比較した比率である。 新規借入を行わず、元利均等方式により償還しているため、年々比率は下降している。
16. 職員給与対料金収入比率	職員給与と費 ／ 料金収入	3.1	3.0	12.1	13.8	職員給与と営業活動によってもたらされた主収益である料金収入を比較した比率である。 可児市は民間事業者への委託を進め職員を削減してきたため比率は極めて低い。
その他						

・（備考）

- ・ 23年度同規模平均は、給水人口10万人以上15万人未満の事業全体の平均値。
- ・ 23年度全国平均は、水道事業全体の平均値。

総収益 = 営業収益 + 営業外収益 + 特別利益
 総費用 = 営業費用 + 営業外費用 + 特別損失
 総資産 = 総資本 + 資本 + 負債
 負債 = 固定負債 + 流動負債

※1 受水市町の経常収支と経常収支比率（平成23年度決算値）



浴 革

昭和33年 上水道事業（昭和33年12月26日創設認可）

計画給水人口 12,000人 1日最大給水量 1,800m³
 水源 井戸水（今渡 1,800m³・・・※取水は実現せず）
 浄水方法 塩素滅菌のみ
 給水区域 広見、今渡、下恵土、土田、坂戸、塩、東帷子

昭和35年 第1次拡張事業

計画給水人口 16,000人 1日最大給水量 3,200m³
 水源 井戸水（川合） 3,200m³

昭和37年 川合浄水場から供給を開始（昭和37年2月1日）

昭和38年 第2次拡張事業

計画給水人口 16,000人 1日最大給水量 3,200m³
 水源 井戸水（川合） 3,200m³
 浄水方法 緩速濾過方式を追加
 給水区域の拡張 羽崎、二野、大森、中恵土、瀬田、柿田、洲之上、
 平貝戸、石森、石井、川合、矢戸、菅刈、西帷子

昭和39年 第3次拡張事業

計画給水人口 16,000人 1日最大給水量 3,200m³
 水源 木曾川表流水（川合） 2,000m³
 井戸水（川合） 1,200m³
 浄水方法 急速濾過方式に変更
 給水区域の拡張 下切、谷迫間

昭和41年 第4次拡張事業

計画給水人口 16,000人 1日最大給水量 3,200m³
 水源 木曾川表流水（川合） 2,000m³
 井戸水（川合） 1,200m³
 給水区域の拡張 久々利

昭和45年 第5次拡張事業

計画給水人口 16,000人 1日最大給水量 4,400m³
 水源 木曾川表流水（川合） 2,000m³
 井戸水（川合） 1,200m³
 萱場工業保有水の暫定取水（土田） 1,200m³

昭和46年 第6次拡張事業（川合浄水場建設）・・・現在、県浄水場

計画給水人口 26,700人 1日最大給水量 10,000m³
 水源 木曾川表流水（川合） 10,000m³
 給水区域の拡張 柿下、久々利柿下入会、今、塩河、室原、長洞

昭和47年 浄水場から供給を開始（昭和47年7月3日）

昭和50年 第7次拡張事業（目標年度：昭和58年度）

計画給水人口 55,800人 1日最大給水量 30,000m³
 水源 木曾川表流水（川合） 30,000m³

昭和52年 大萱飲料水供給事業の開始（着工：7月25日）

計画給水人口 82人 1日最大給水量 16.4m³
 水源 中日向溜池へ流入する谷川の表流水 16.4m³
 浄水方法 緩速濾過方式

昭和60年 第8次拡張事業（目標年度：平成9年度）

計画給水人口 105,600人 1日最大給水量 43,940m³
 水源 木曾川表流水（川合） 32,140m³
 県営可茂上水道用水供給施設からの受水 11,800m³

昭和62年 大萱飲料水供給事業の変更（水源変更）

計画給水人口 90人 1日最大給水量 25m³
 水源 井戸水（久々利大萱） 25m³
 浄水方法 急速濾過方式

昭和63年 県営可茂上水道用水供給施設からの受水開始（10月1日）

平成3年 第8次拡張事業第1期変更（目標年度：平成15年度）

水源 県営可茂上水道用水供給施設からの全量受水に変更
 県営可茂上水道事務所山之上浄水場からの受水 11,800m³
 県営可茂上水道事務所川合浄水場からの受水 32,140m³

平成3年 県営可茂上水道用水供給施設からの全量受水を開始（4月1日）

平成4年 大平簡易水道事業の供給開始（5月1日）

計画給水人口 170人 1日最大給水量 51m³
 水源 井戸水（久々利大平） 51m³
 浄水方法 急速濾過方式

平成9年 第9次拡張事業（目標年度：平成22年度）

計画給水人口 112,500人 1日最大給水量 57,000m³
 水源 県営可茂上水道用水 57,000m³

平成17年 兼山町と合併（平成17年5月1日）

兼山町簡易水道譲り受け（平成17年5月1日県届出）
 計画給水人口 2,235人 1日最大給水量 975m³
 水源 県営可茂上水道用水供給施設からの受水 975m³

平成18年 可児市上水事業へ兼山簡易水道譲り受け

（平成18年3月16日厚生労働省届出）

計画給水人口 114,735人 1日最大給水量 57,975m³
 水源 県営可茂上水道用水供給施設からの受水 57,975m³

平成25年 大平簡易水道事業を上水道事業へ統合（平成25年4月1日）

計画給水人口 170人 1日最大給水量 51m³
 大萱飲料水供給事業を上水道事業へ統合（平成25年4月1日）
 計画給水人口 90人 1日最大給水量 25m³